

合理的配慮とは

磯松中学校 一年 出口優人

基本的な人権とは、人間らしく生きることが
できる権利。僕は合理的配慮を認められるこ
とによって、みんなと同じ学びに参加できる
ようになりました。

僕は、みんなと違うことがあります。それ
は、音を聞くとめまいがおきたり、字が揺れ
て読めなくなったり、自分の体がコントロ
ールできなくて、例えば字を書いたり、走った

りができなくなったりします。集団の学校の
中では、様々な音が聞こえます。読み書きが
沢山あります。感覚が過敏、バランスが取れ
ない、字を書くことができないと、教室に座
るのも大変で、みんなと同じように授業に参
加することが困難です。ノートが書けないの
で、努力が足りない、なんではやく書かない
の？と言われ、小学校では自信を失い辛い思
いも沢山してきました。自分がなぜ、みんな
と同じようにできないのか？ずっと不思議で

した。どうやったらできるようになるのか調べたくまりました。色々な検査をして、病院の先生に相談して、自分の見え方、聞こえ方をできるだけ伝えました。なぜ書くことができないのかがわかり、書くことから iPad を使いタイピングで打つことに切り替えました。

しかし、現状は合理的配慮は知名度が低い気がします。合理的配慮とは『障害のある方々の人権が障害のない方々と同じように保障

されるとともに、教育や就業、その他社会生活において平等に参加できるように、それぞれ障害特性や困りごとに合わせておこなわれる配慮』とありますが、なかなか受け入れられない現状です。中学受験の時に、いろいろな学校にタイピングで受験ができるか問いあわせましたが、すべて断られました。そこで、字が書けないと学ぶチャンスもなくなるんだと絶望的になりました。受験をすっかり諦めていたら、一つの学校がタイピングで入

試を受けさせてくださいました。書けないと何もできない、学ぶことができないと言う思いから、将来に対して、希望を持つことができませんでした。今後は受験の合理的配慮について、専門家や当事者を含めて、何度か話し合える機会が大事だと思います。

困りごとは、毎年担任の先生に引き継ぎ内容が上手く伝わりにくいことです。その解決案として、先生に自分を理解してもらえるようなレポートを書きました。

努力したことは、自分も合理的配慮をわかっているのに、相手に求めるのは間違っていると思つたので、合理的配慮について調べました。ポイントは、三つあります。

一つ目は、相手の立場も理解して、過度な要求はしてはいけません。何度も話し合うことが大事でした。高校に入学したいと思つているので、自分ができることを伝え、学校が評価できるものを相談しました。具体的に、は、マイクを使うイベントをオンラインで参

加し、音楽の授業を対面とオンラインで選択して参加しました。音が混ざってめまいがおこる時は、別室で練習しました。校歌は音源をもらって家で録画したものを提出しました。めまいがおこりやすい体育は、ヨガで参加。実技のテストは夏休みに補習をしてもらう予定です。諦めずに、参加できる方法をお願いして、自分に合う方法を試すことが大事だと思いました。

二つ目は、僕の場合、脳の障害なので、困難さを理解をしてもらうのは難しいです。先生がいつでも助けられるようにそばにいる場合、できることは自分でするようにしています。限界まで頑張って倒れる前に止めてもらえ、えるような信頼関係が必要です。失敗しても、責めたりせず、なぜ失敗したかを共有して、次のアイデアを出しあい、励ましてくれて、関係が必要でした。現在は先生も協力してください。

三つ目は、配慮を申請する時に検査をし

て、こういう配慮が良いとアドバイスをして
くれる専門家が必要です。配慮をもらって
も、使わなかったら、相手に負担がかかるだ
けでいいことがないです。その人に合った配
慮が必要だし、定期的に相談できる所がある
といいです。

合理的配慮をお願いするのは、先生方の仕
事を増やしてしまいます。しかし、周りの理
解と工夫があれば、困りごとがある子の解決
方法は沢山あります。僕は、様々な配慮をし
ていただくことで、学校生活を送ることがで
きています。

これからも、周りの人達に感謝をして、中
学校生活を送っていききたいと思えます。合理
的配慮ということを知らずに、苦しんでいる
友達に、こんな方法があるよと知ってもらい
たいです。事例を蓄積して、困りごとがある
人が、その人に合った配慮を試せるきっかけ
になればいいと思います。